

## 新年明けましておめでとうございます



南側の玄妙庵から見た天橋立

●昨年末、久しぶり天橋立に行く機会がありました。南側の玄妙庵から展望。この展望は、天橋立が天に舞い上がる龍のように見えることから「飛龍観」と呼ばれています。雪舟が描いた粟田峠辺りからの展望は「雪舟観」と呼ぶらしい。手前には廻旋橋があって、日本冶金へのステンレスの原料を運ぶ船が通る時、橋が回転しその通路を空けます。

●この日は北近畿タンゴ鉄道で移動。ついつい車で行きますが、ゆっくり景観を楽しみながら行きました。列車には女性のアテンダントが乗務し、風景の説明をしてくれたりします。由良川河口、奈具の海岸など、風光明媚な場所では列車が止まったりして、大サービスです。

●毎年、この対岸にある元伊勢、籠神社（このじんじゃ）に初詣に行くのを常としています。帰りに、もう建て替わりましたが「セント・ベア」でピッツアパイか、宮津市内の「こんぴらうどん」で揚げ立てのてんぷらうどんを食べる。変わらないお正月ですが、今年は嫁様も来たり、8人になるのかな。

●当社の経営理念は次の通りです。①私たちは、生活・環境企業として、お客様の安全で豊かな暮らしを、お手伝いします。②私たちは、人間として、専門家として、その品位と技能を高め、わが社を舞鶴で最も質の高い、最も働きがいのある会社になります。③私たちは、人間尊重と環境調和をその基準とし、平和で潤いのある社会を目指します。

●改めてお正月に当社の理念を書き添えるのは、特に近年、時代の変化が著しいと実感するからです。セイブ通信も20周年を経た。早い機会に若い人たちにバトンタッチしておかなければならない。新しいコミュニケーションの手段のホームページも、曲がりなりにも彼らの手で出来た。

●しかし、基本がちゃんとあって、いくら「時代の流れ」があろうと、訳の分ったことをしていかななくてはいけない。しかし最近では、本人も訳の分らないものに振り回されてはいる。向こう側には富や利便ではなく、「平和で潤いのある社会」が構築されないとはいけなく、と大層に考えるのです。

## 道草

●知り合いのNさんが、近年亡くなった心理学者の河合隼雄さんの講演集の7巻もあるCDを貸してくれました。河合さんは臨床心理士でもあって、患者（というより普通の人）の話をよく聞いてくれる。Nさん自身も話をよく聞いてくれて、聞いてもらうことによって、自然に問題が解決することもある。

●そのCDの中の一巻に「道草」と言うのがあって、比較的よく記憶に残っています。比較的と言うのは、自分でも相当症状は進んでいると実感しているのですが、本を読んでも、後から何が書いてあったかを問われても、何だったか忘れていることが大変多い。最近では3秒前のことが怪しい。

●「昔は結核は長期療養の必要な病だったが、『病気になったお陰で、いろんなことが分り、今の自分にとって大変なためになった。』と言う風な表現をする人が多い。道草をすることは、合理的で効率的な生き方では得られない、貴重な経験である。」道草の多い人間にはよく納得が行く。

## 愛媛の伊予柑受付中

●例年通り「伊予柑」の注文を受け付けます。配達は糖度が引き立つ2月になってから。大きさは2L、品質は「秀」。10kg入と18玉入（約5kg）の2種類。その他に「デコポン」2L、20玉入。「はるみ」、5kg入も受け付けております。地方発送も承ります。

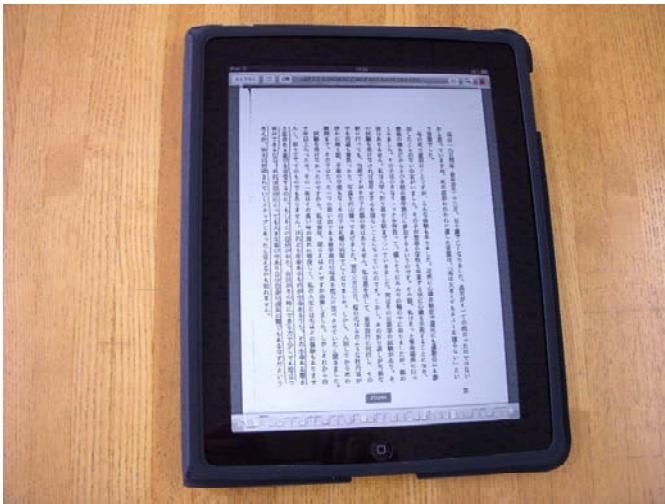


●2ヶ月間休刊し、セイブリビングニュースを発行していましたが、今月号から復刊する事にします。新しいコミュニケーションの方法として10月から、まだ一部工事中ですがホームページを開設。URLは「[www.seibu-living.co.jp](http://www.seibu-living.co.jp)」■オール電化の工事もお客様の御希望に従って行っています。熱、水周りは実績のある当社までご下命下さい。訪問販売業者には乗らないように。●なぜか舞鶴に雪が降らない(12/27)。周りの地域が大雪なのに、今日も晴れている。火力発電所の廃熱の影響ではないかと邪推をしています。一度その熱量を計算してみたことはありますが、舞鶴市民の給湯の熱量を補って余りある熱量が瀬崎の海に流れ込んでします。隣の高浜原発ではプルトニウムを燃やし始めた。少し怖い。(正)

# セイブ通信 2011年2月号第3世紀No.42

発行者 セイブリビング株式会社 森下 正 舞鶴市字清道309-13電話(0773)75-5145 propane@topaz.ocn.ne.jp

## 自炊のススメ



電子書籍を映す iPad

- 今年で年齢だけは大台に乗ってしまった。最近では会合で、気が付くと自分が一番年上だったりします。頭の中身も、言うことも、行うことも、とても思慮が足りずに、恥ずかしい思いばかりしています。知人に言うと、「事実であるから受け入れるより他はないでしょう。」と諭されてしまった。
- 今年の特別な誕生日には、ケーキやメッセージや赤いパンツを頂いた。その中に iPad がありました。「新たな電子機器を買わないように」年末から注意されていました。元々パソコンは1988年ごろの大昔からアップルコンピュータ社のマッキントッシュを使っていましたので、欲しくはありません。
- iPad (アイパッド) は最近流行りだした所謂「タブレット端末」の先駆的な機械で、要はパソコンが中に入っていて、どちらかといえば画面中心の情報端末機と言えます。電話機能が付いているものもありますが、主にインターネットを利用して書籍や音楽を取り入れて見たり聞いたりする。
- 短絡的に考えると、その様に宣伝もされている節はありますが、電子書籍を読む端末機といえます。書籍を書店では買わず、インターネット経由で買う(ダウンロードする)。確かに最近の音楽は同様の形で iPod (アイポッド) にダウンロードする若者も多い様です。講演や落語までである。
- レコード→CD→iPod という図式は一部で書けない訳ではありません。同様に印刷物の書籍→電子書籍となるのか。ここら辺の論議は、確かに我々の考え方や在り様を問われるようで興味深いし、よく考えておくべき事でもあります。その話を書店の店主にしたら、相当に危機感を持っておられた。
- 「基本的に書籍は情報であるから、中間の事業者を省いて、電子情報としてユーザーに届けられれば、コストも安いし、スピードも速い。」と言えなくはない。一面真実でもある。現に作家の多くは現在ではワープロを使い、編集者もコンピューターを駆使してレイアウトに当たる訳です。このセイブ通信にしてもデスクトップパブリッシングの賜物です。

●ではこの iPad をどのように使うのか。まだ説明書も十分に読んでおらず不明。大体説明書が付いていない。Wi-Fi (無線でインターネットに無線で接続できる環境、最近では家庭ばかりでなくマクドナルドやホテル、新幹線の中でも使える) でインターネットにつないで説明書を読まないといけない。

●実はたまたま読んでおかないといけない本がありました。注文すると絶版とのこと。知人に問いましたら貸してくれました。そこでこれを会社のコピー機で PDF 形式に変換、パソコンに一旦保存し、この iPad とケーブルで結んで同期すると、iPad に入りました。左はその画面。持ち主のラインつき。

●この場合、著作権の侵害になるのでしょうか。電子化されるとコピーが簡単になるので、音楽の分野でも問題にはなっていますが、こういう侵害は多くなるでしょう。日本語の電子書籍そのものはまだそう多くはなく、そう安くありません。著作権の保護も必要で、それはそういう理由なのでしょう。

●科学ジャーナリストの皆神龍太郎さんは、この iPad が出る10年も前から蔵書を電子化されています。かれは書齋からあふれ出した書籍の置き場で、家人との口論を繰り返した。そこで蔵書を電子化しそれは片手に乗るハードディスクにおさまったとのこと。これを「自炊」と呼ぶらしい。

●損害保険会社の M さん来社。会社の自動車保険の継続契約。更改申込書を確認の上、M さんが持ち込んだノートパソコンの「タブレット」にサイン。画面の上に専用のペンでサインをする。訳が分からない。M さんは代理店事務所に帰って、本社に「送信」するらしい。

●本屋さんは iPad の出現に落胆しているようですが、そう杞憂することもないのではないかと。むしろ活用する方法としては、自分の書籍を電子化し、整理することで書籍の購入が増えるかもそれない。大体電子書籍そのものが読みやすいとも思えない。裁断機とスキャナーはよく売れているらしい。

## 善は急げ火災警報器

●法律で定められた火災警報器の取り付け期限は5月31日。別に罰則はないにしても、法律で定められた義務事項を励行せずに火災に被災した場合不利益をこうむる懸念はあります。



- 伊予柑の発送は2月中の予定。はるみ、デコポンも出てきますからお問い合わせ下さい。
- オール電化の工事もお客様の御希望に従って行っています。熱、水周りは実績のある当社までご下命下さい。訪問販売業者には乗らないように。
- ガス設備の調査点検にお伺いしています。必要に応じては土日に対応しますので、事前に御相談下さい。大変大事なことです。宜しく御理解下さい。
- 新聞に広告があって、会社で使っている万年筆を30年ぶりくらいで、買い換えました。パイロットのポンプ式です。下手な字ですが味があると言われます。何ととっても訳が分る。(正)

## GNH 国民総幸福度



京都国際会館

●2月13日、国立京都国際会館で『『KYOTO 地球の殿堂』表彰式』と「京都環境文化学術フォーラム『グローバルコモンズを目指して』—自然と文化を大切にしたい幸福な社会—国際シンポジウム」があつて、環境問題に関心がある一員としては応募して参加することにしました。

●「殿堂」というのは、世界で地球環境の保全に貢献した人を顕彰し、これを後世に伝える為の国際会館内の展示施設で、昨年はノーベル平和賞受賞者で「もったいない」精神で有名な、ケニアのワンガリ・マータイさんも表彰された。

●今年は熊本県の「水俣病」の治療や公害の研究を進め、「毒は薄めて捨てても自然界の食物連鎖を通じて濃縮され、人間や動物に影響が及ぶ」と述べられた元熊本学園大学教授原田正純さん、ノーベル経済学賞受賞者でもあるアメリカの女性経済学者のエリノア・オストロムさん、ブータン第4代前国王シグミ・シンゲ・ワンチュク陛下の3人が受賞された。

●ブータン前国王陛下は1974年に即位され民主化政策を進めると共に「GNH = Gross National Happiness 国民総幸福度」という概念を提唱された。GNHは、従来の物質的・金銭的な豊かさを示すGDP(国民総生産)ではなく、自国の文化を尊重し、自然や環境と調和した「よりよい生き方」を重視する「国民全体の幸福度」を示す尺度であり、利便性や経済的な豊かさのみを偏重してきた現代社会の価値観の転換を促すものとして世界的評価が高まっています。

●この日は娘であり現国王の妹君のケサン・チョゼン・ワンチュク王女殿下が基調講演をされ「GNHは物質的豊かさによって得るものと、持続可能な社会がもたらす価値のバランスを重視する。」と英語で述べられた。我々は同時通訳のヘッドホンで聞きました。実はセイブ通信の昨年10月号で御投稿頂いた奥谷先生がこの招請に行かれたのでした。

●これは中小企業の経営理念に繋がることで、深く聞き入りました。また秋篠宮両殿下が御臨席で、式後ロビーで王女殿下と御移動中を間近に拝見。写真は禁止で残念した。

## 太陽光発電の御案内

●京都議定書以来、地球温暖化防止の認識は高まっていますが、CO<sub>2</sub>など温室効果ガスの発生量は、全体的にはむしろ増加傾向にあり、国、京都府、舞鶴市でも2020年までに、1990年基準で25%削減を計画しています。

●そのために、特に民間部門では太陽光発電、太陽熱温水器が非常に有効な方法となっています。実は単に電化をするだけでは、むしろ発生量が増える場合もあります。特に電気温水器はガスの約3倍の発生量になります。電気の元は火力でもあるのです。原子力依存も少し怖い。

●このところ一般のお客様も関心をお持ちの方が増えています。当社も今後、積極的に取り組みます。住宅設備メーカーのノーリツも「太陽光発電」「太陽熱温水器」の提案をし、4月16日(土)、17日(日)に福知山展示場で、お客様対象にセミナーを開催します。疑問や不安に対応します。興味や関心のある方、取り付けを検討してみたい方は、この機会にぜひ御来場下さい。担当者か会社まで御連絡下さい。



当社展示太陽光発電モジュール

■伊予柑、はるみ、デコポンの御注文有難うございました。今年の出荷は終わりました。特に伊予柑は糖度が高く、近年に無く美味しかったようで、配達後再注文がたくさんありました。新種もいろいろ出てきています。■「紅マドンナ」は「きよみタンゴール」の一種で外皮、房とも薄く、ナイフで全体をきって食べるのがいいようです。「甘平(かんぺい)」は外皮は剥き易く、房は柔らかくそのまま食べられます。デコポンの交配種で伊予柑ほど甘くなく食べやすい。●「伊予柑」か「はるみ」か「新種」か、意見の分かれるところですが、ある識者によれば「料理の味について、最近の傾向として、癖の無いまろやかなものが好まれるように変化している」とのこと。実は「写真」の色にも好みの変化があつて、かつてフィルムメーカーが国ごとに違う色調のものを販売していた、と聞きました。この傾向は我々の生き方にも反映されていると思えます。■ガスの炎も訳がわかっていいですが、オール電化の工事もお客様の御希望に従って行っています。熱、水周りは実績のある当社までご下命下さい。■ガス設備の調査点検にお伺いしています。土日にも対応しますので、事前に御相談下さい。大変大事なことです。●「貧困ビジネス」は、失業した労働者に雇用保険や生活保護の給付を受けさせ、その上前をはねる。貧困に陥ると抜け出す為にさらに支出をする。注意をしないといけないうのは、電化の誘いで、新築なのに、光熱費が安くなると言われ、ローン契約で更に負債を増やすこと。多重債務者となって、自宅を競売にかけた人を何人か知っています。年金生活者の御老人が楽しみを超えて、パチンコに通うのも心配。ひよっとすると宝くじも同類と言えなくはない。金銭感覚中心で、ブータンとは対極をなすものと言えます。(正)

# セイブ通信 2011年4月号第3世紀No.44

発行者 セイブリビング株式会社 森下 正 舞鶴市宇清道309-13電話(0773)75-5145 propane@topaz.ocn.ne.jp

## 東北関東大震災



2007年の高浜原子力発電所

- 実は3月11日は38回目の結婚記念日で、真名井の灯屋で晩飯を食べる予定でした。夕方から会社で、お客様のガス設備の点検調査の進捗状況を確認する「保安会議」の予定でしたが、事務所に戻ると事務員の悦ちゃんが津波に呑まれる町や畑の、テレビの生放送を茫然と見ていました。
- とても会議の雰囲気ではなく、テレビの画面に釘付けになっていました。心の中で激しく憤るものがあつたようです。こんな生放送があつたのは、歴史上初めてではないか。後年これを見た人は多くのことを学ぶことを希望します。災害はああいう風に、日常の中で突然起こるものようです。
- 3週間を経ようとしています。追い討ちを掛けるように福島原子力発電所の事件が起こっています。極めて危険な事態が起こり、現在もその状況が続いていますが、どこかで感覚が慣れてくるのが心配です。曰く「想定外」とのことですが現実に起こっています。福島原発だけのことではない。
- 情報が、次から次から入ってくると、現象だけに目を奪われ、一体何が起っているかの本質が分らなくなります。情報が多すぎるとすぐには理解出来ない。人間は、激しい変化に見舞われると即座には対応出来ずに、むしろ自分の脳を保護する為に、無意識に鈍感になるのかも知れません。
- 厳然たる事実として、「安全」とされてきた原子炉から放射能や、猛毒のプルトニウムが漏れ出し、土壌や海水を汚染し始めています。東京電力や政府の発表は、混乱を避ける為に、言葉を選び、慎重に行われているようです。テレビに出てくる解説者も一様に控えめな表現です。「拡散すれば、問題はない」という言い方です。
- 「濃縮」については、現段階ではなし。確かに現段階は許容基準範囲かも知れません。「水俣病」で認識された問題はこのことで、前回通信でご紹介した「地球環境の殿堂」において表彰された元熊本学園大学教授原田正純さんは「毒は薄めて捨てても自然界の食物連鎖を通じて濃縮され、人間や動物に影響が及ぶ」と述べられた。

●マスコミも、専門家に説明を任せ、事態の推移を現象の面からの報道に止め、起っていることの意味や今後の方向は言いにくそうです。日頃あれだけ電力会社や電器メーカーのCMを流し、広告料収入の大きな柱ですから、萎縮するのが当然です。広告主に弓を引く訳にはいかない。

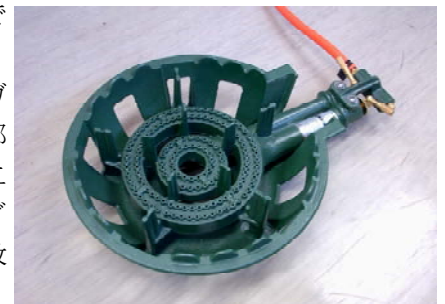
●「オール電化」は元をたどれば、原子力発電所に端を発します。原発の直接的な電力の製造原価が約6円。夜間は電力消費量が減る。電力の平準化のためにも夜間の消費を上げたい。電力の自由化もあつて、一般家庭を囲い込みをしたい。そこで「オール電化」をすれば、昼間の電気単価はむしろ上がるが、夜間は9円で売ろう、となった訳です。

●原子力発電の後には、東芝、三菱、日立の大企業がついています。今後原発が出来なくなると、有力な輸出が出来なくなって、経済にも影響が出るかも知れません。フランスの大統領が福島原発の災害支援にわざわざ来たのは、原発輸出大国のフランスの事情もあると考えられます。

●東京、東北電力では計画停電が行われる。関西で同じことが起ると、関西の電力会社の原発依存率は50%と高いので、もっと多くの計画停電をせざるを得なくなるでしょう。想定外のことは起こる訳ですから、関西でもそのことは考えておかないといけない。高浜ではプルトニウムも燃やしているので、深刻なことも起こる可能性が強い。

●そもそもさらに多くの原子力発電所となるのか。現に今電力の需要が増えれば火力発電所の稼働率が増えることになり、むしろCO2の発生量はガスの3倍になる。うちもやっているエコウィルやエネファームで自宅で発電すれば、エネルギー効率は、火力発電所の40%より倍の80%と高い。

●京都のボランティア団体から、「石巻に支援に行くのにガスボンベとガスコンロを10セット準備して欲しい」と電話がありました。避難所で給食をするとのこと。取引のある市内のガス会社に依頼。京都で受け渡し予定。こんな時はプリミティブなイモノコンロが、故障も無く良い様です。安全に使用下さい。



2連コンロ MKP-20

■ガス設備の調査点検にお伺いしています。土日に対応しますので、事前に御相談下さい。大変大事なことです。■住宅用火災警報器の取り付け期限は5月中です。未取り付けは法律違反になります。罰則はありませんが、未取り付けによる損害、類焼拡大は不利益を被る恐れは考えられます。●結婚した時、東京のアパートにいたのですが、その時の風呂屋仲間が千葉にいて、地震後心配で電話をしました。「被害は無かったがガスリンが無い」とのこと。アパートに風呂がなかったので今に到るまで付き合いが出来ていると言えます。便利が良いとは限らない。(正)

# セイブ通信 2011年5月号第3世紀No.45

発行者 セイブリビング株式会社 森下 正 舞鶴市字清道309-13電話(0773)75-5145 propane@topaz.ocn.ne.jp

## 熱い人たち



4月18日に石巻から帰還したボランティアの皆さん、当社駐車場

●京都市内のボランティア団体から依頼があって、ガスボンベとガスコンロを準備し、京都市内で引き渡しましたが、チーフの伊東さんたちは4月8日(金)に出発し、11日(月)に帰って来ました。レンタカーのトラックに3人乗車し、ほとんど眠る時間も無く往復したようです。

●1週間後の4月14日(木)、舞鶴市内にご勤務の渋井さんは、居住する地域の防犯ボランティア団体の皆さん7名と、炊き出しと「足湯」をする為に、やはりガスボンベとコンロを持って、予め打ち合わせていた石巻市内の中学校に行かれた。17日まで現地で活動され、18日昼ごろ返却の為、当社に帰還された。

●「風呂も入らず」とのことで、さすがにお疲れの御様子。誠にご苦労様でした。私たちの業界でも、知り合いの滋賀県の中村ホームガスさんとその仲間の方々が、地震の後3月24日に会津若松に行かれ、当日現場下見、現地行政と打合せトンボ帰りして、仮設風呂の準備をされ、4月2日にトラック3台に資材を積み出発、3日には工事を開始されました。脱衣場もある立派なものでした。

●中村さんは2004年の中越地震、2007年の中越沖地震でも同様のボランティア活動をされ、段取りは慣れていてすぐに実行されたようです。昨年の奄美の水害の時も、ガス炊飯器を40台かき集めてすぐに送られた。人が困っているのを見ると、居ても立ってもおれないそうです。誠に熱い方々で、敬意を表したいと思います。

●当社も微々たるものですが、物資としては、こんな時期有効なカセットガスボンベをすぐに送りました。義援金も複数の関係各団体を通じて送らせて頂いています。現地の同業者では、店主が津波で死亡された方もありますが、ライフラインの復旧のために努力をされています。早い復興を念じて止みませんが、相当長期にわたる支援が必要のようです。ガスに関わる機器の納期もだいぶ遅れています。

●大きな心配ごとのもう一つは福島原発。特に地域住民の方々の更なる負担は想像を超えそうです。舞鶴の保健所からも放射能の線量測定の業務で係員の方々が行かれたようです。避難の指示を受けていても、どうしても物を取りに家に帰られるようで、ある小学生は、当然ですが家に上がる時、靴を脱いだ為、靴下に多くの放射能がついたようです。

●高浜原発が市役所から12kmの範囲にある舞鶴市民としては、とても遠くの出来事ではない。当地の電力会社は、この機に相当のお金を掛けて、自家発電機や電源車を増設して、同様の事態に備えようとしています。4月8日には舞鶴市にもその説明に来られた。ただ津波に関しては、相当に低い想定の様ですが、かさ上げが検討課題になっているらしい。

●20年前に美浜原発の蒸気発生器の熱交換器の細管が破断、放射能値が上昇したことがあって、近所のTさんがガンマー線の測定器を買った。何かあった時にはお互いに確認する必要があるというので、私にも買う様に勧めた。その時Tさんに勧めたのが、小浜の妙通寺の中島哲演さんという坊さんらしい。ここの所の報道は、マスコミに頼るほかは無かったので、一度立場の違う方の話も聞いてみたいと考えていました。4月23日に小浜で、このことに関する中島さんの講演があると聞きつけましたので、興味深々「恐る、恐る」聞きに行きました。興味深かったのは①「元々原発は人間の御せる物ではない。研究者は試行錯誤している」という研究者の話。②「原発が安全と言うなら大阪に原発を作る運動をして下さい」とおっしゃった敦賀の女性。③「経済的には貧しかった地域に原発が出来たことについて都会の者たちが非難をしてもいけない」と言うことでした。

●当日、ゲストでアイリーン・スミスさんという女性がおいでになった。実は39年前のお話したことがある方でした。まだ私が四国松山で学生であった頃、県立美術館でサークルの写真部の写真展をした時、上の階で世界的な写真家「ユージン・スミス」の写真展が準備中、ただで見せて頂いた。その時奥さんであった彼女とお会いしたのです。今はジャーナリストとして、  
アイリーン・スミスさん  
原発問題に取り組んでおられるようです。この方も熱い。



アイリーン・スミスさん

■住宅用火災警報器の取り付け期限は5月中です。未取り付けは法律違反になります。罰則はありませんが、未取り付けによる損害、類焼拡大は不利益を被る恐れは考えられます。●使用しているデジカメの電池の小さな固定レバーが折れました。3年目で修理は9,800円。新品のスペア電池も買っていたが、新製品には使えない。思案のしどころ。環境問題の大本の問題でもある(正)

## 市川團十郎



順天堂大学病院

- 先月の下旬、東京の西の端の八王子にいる叔母が亡くなりました。遠くでもあり、いとこからは気遣いの電話もあったのですが、それ故にこそ、この機会がないと当のいとこにも当分、又は一生会えないと思え、お参りする事にしました。叔父もそうだったのですが、周囲を考えての家族葬でした。
- 行く時は、新宿から京王線に乗って多摩永山を通り、南大沢駅で下車。実は30年以上昔、サラリーマンしている時、仕事でこの当りに来たことがありましたが、当時はまだ開発中で、丘陵地帯でした。今は高層のマンションが立ち並ぶ住宅地になっています。名残はあって、狸は出るそうです。
- 帰りは、八王子駅からJR中央線で、新宿を経由し東京駅に向いました。快速電車でも1時間以上かかります。関西で言えば大阪→京都間。途中、御茶ノ水駅付近で外堀でもある神田川の向こう側に順天堂大学病院が見えました。
- 日曜日、テレビで「仁」を楽しみにしています。「仁友堂」のモデルになったのがここ。番組の最初に出てくるのはこの風景です。体がここに入院したことがあって、かよったことがありました。「仁」は順天堂の医師がである南方仁（みななかたじん＝大沢たかお）が幕末にタイムスリップする。
- 彼の現代での恋人の友永未来（ともながみき＝中谷美紀）につながる花魁（おいらん）の野風との出会い。幕末の歴史上の人物も出てくる。しかし歴史の修正力との葛藤が続く。過去の間人が、現在の間人につながるの当然ですが、今もまた未来につながる。当たり前のことですが日常ではなかなか意識は出来ません。
- 「骨髄移植」では「白血球型」の一致が必要。同じ「白血球型」と言うことは、何代前かに親を共有しています。父親と母親がそれぞれ2種類ずつの型を持っていて、1代前の親を共有する兄弟の適合率は計算上1/4となる。舞鶴市内での献血会場ではこの「骨髄バンク」への登録が出来ます。この6月に全国骨髄バンク連絡協議会会長に市川團十郎さんが就任される。いとこの白血球型は何だろうか。

## リンナイ、リニュー！ガスフェスタ御案内

- ガス器具のリンナイでは、7月23日（日曜日）午前10時～午後4時、「マリアージュ福知山」において、「2011リニュー！ガスフェスタ」を開催します。「火のある快適な暮らしのお手伝い」をするために、最新のガス機器を展示し、見て頂こうと思います。研究の為、是非お越し下さい。
- お客様に楽しんで頂くのを目的にしています。舞鶴からはバスを出し送迎します。半日遊ぶつもりで結構です。昼食代として金券を提供します。会場近所のさと、かつぱずし、ふくちあん（ラーメン）で御利用下さい。付近にはユニクロ、ヤマダ電機もあります。帰りにはニトリに寄る積り。
- 昨年までは補助金付のリースコンロを提供していましたが、今年はリンナイが提供する「ご成約特典特別割引」を利用し、安価な「らく得リース」も行います。月々1,390円～3,670円で、最新のSiセンサーコンロが利用できます。ダッチオープン、炊飯鍋のオプションも充実！レンジフードも新登場です。本当にどうぞお気軽にご参加下さい。

## 節電より切電

- 今年は「節電」。各メーカーは「節電モード」がついた新しい器具を新発売。家庭用蓄電池も「ビジネスチャンス」と売込み中。ハウスメーカーが作る最近の住宅は、高気密高断熱で、暖房や冷房の効きが良い。しかし冷暖房の空調が前提になった作りで、エアコンが何台もついている。
- 舞鶴市でもゴーヤのグリーンカーテンをすすめています。市内の幾つかの公共施設に舞鶴市地球温暖化対策地域協議会が中心になって、設置を行っています。隣の福知山市では、ゆるキャラ「ゴーヤ先生」が登場。普及に一役買っています。このあいだ「ゆうさい君」とも会ったようです。
- 竹うちわをプレゼントします。御希望の方は御連絡下さい。プラスチックのものと比べると、微妙に軽く快適です。エアコンはむしろ出来るだけ切って、緑のカーテンで熱を遮断し、風通しを良く。40年前と比べると、家庭電力消費量は倍になっています。3R（リデュース、リユース、リサイクル）は大事。



今年の団扇は6種類

- 住宅用火災警報器の取り付け期限は5月中でした。未取り付けは法律違反になります。罰則はありませんが、未取り付けによる損害、類焼拡大は不利益を被る恐れは考えられます。当社では月々安価なリース販売をしています。買取も出来ます。■よく効くゴキブリ誘引殺虫剤「ゴキブリキャップ」好評発売中。1戸建用30個入2,415円、アパートなど小世帯には小分けして半箱15個、1,470円。●「ぼんやりの時間」（辰野和男著、岩波新書）休みの日にはボーッとしていると「見えないものが見えてくる」。（正）

# セイブ通信 2011年7月号第3世紀No.47

発行者 セイブリビング株式会社 森下 正 舞鶴市字清道309-13電話(0773)75-5145 propane@topaz.ocn.ne.jp

## 緑のカーテン



庭のゴーヤ

●拙宅でもゴーヤのグリーンカーテンに挑戦。50リットルのプランターを2個、「花と野菜の培養土」20リットルを4袋、肥料を少々、鹿児島レーシの苗を4本購入、6月の初めに植えました。「沖縄ゴーヤ」は178円、「鹿児島レーシ」は78円。ほぼ同じものだがブランド力で価格が違う。今年には物によっては需要が多く、在庫品薄だったようです。

●南側の居間の日当たりがよいのもよし悪しで、夏場この部屋にしかないエアコンは元々効き難く、家人からも遮光カーテンの設置を求められていました。一週間ほど前、安いのに目がくらんで買って来た化成液肥「ハイポネックス」をやったら、急激に伸びてきた様です。地力と言う意味では有機肥料も重要です。そういえば近所のTさん「水耕栽培の野菜はまずかった」と言っていました。

●翌週、10cm角の網とポールを購入設置。高さ2.4m×幅4.5m程。写真は7月1日現在の状況。まだ不十分ですが今月中には「緑のカーテン」が出来て、効果を発するのではないかと。調子に乗って無防備の東側には朝顔を植えることにして、先週種を蒔いたところです。多分小学校以来のことで、火が付き確かに気持ちはウキウキ。

●裏のKさんから声が掛かり「種は蒔く前に、コンクリートのところで種の皮を擦ってやると発芽しやすい」とのこと。御助言に従い、苗代の鉢に植えました。今週発芽。余り放っておくとツルが伸びないそうです。今度の休みには網を仕立てておこう。東側の部屋には元々エアコンはなかったので、電力会社の言う15%削減には貢献しないかも知れない。

●検査中の原子力発電所の再開について、地元知事が「難色を示している」らしい。電力会社も「原発が動かなければ電力不足となるので、15%削減をお願いしている」とのこと。今週になってその知事達に変化がある。どうも「国民の要求によって原発を再稼働させる」筋書きのようで、橋下さんも切れたらしい。ゴーヤいやレーシの効果を期待する。

## 断捨離

●会社では「環境マネジメント」に取り組んでいます。セイブリビングが、会社の組織として「地球環境保全」を行う、と言う訳です。大企業では国際基準の「ISO14001」という規格で行っていますが、京都議定書以来、京都ではISOの簡単版である「KES=Kyoto Environmental System Standard=京都環境基準」という規格が推進されています。

●前年からその一環として「5S運動」を行っています。5S=整理、整頓、清掃、清潔、しつけ、ということです。ともかく月に一度、各車両や事務所各所の整理状況を自分達でチェックする。こういう点ではメーカーの工場は極めてきちんと整理されています。そうすることによって①作業効率上がる②安全性が上がる③無駄が無くなる④製品の品質が良くなる、などいろいろなメリットが数多くあります。

●ところが事務所の中がどうかと言うと、結構古い書類やカタログが積んであったり、ここ数年使ったことがない道具がスペースをとっていたりします。これは大体は「いや必要となる時が来る」と考えているからですが、書類に関しては、特に最近、何処にその書類をファイルしたか忘れてしまう。

●保存場所そのものも、限界があります。そこで登場したのが文具メーカープラスの断裁機。この際、書類、テキスト、書籍は電子化してコンピュータ内に保存することにしました。本もこの断裁機で端を切り取って紙にし、コピー機の読み取り機能を使って取り込みます。

●それを家庭ベースで実践しているのが「断捨離」と呼ばれる実践です。「やました・ひでこ」さんの書籍も出ていますので研究してみてください。どうしても最初は不要なものを捨てることから始めないといけない。執着心があるはいけないようです。結局生き方への問い掛けがあって、今の環境問題の原点にも思えます。



160枚一気に切れるプラスの断裁機

## らく得リースコンロ

●7月23日(土)午前10時～午後4時、「マリアージュ福知山」において、「リンナイ2011リニュー！ガスフェスタ」を開催します。安価な「らく得リース」も行います。月々844円～3,134円で、最新のSiセンサーコンロが利用できます。

■年末にカレンダーをプレゼントしていますが御不要の方は8月中に御連絡下さい。代りに実用的な「暮らしの手帳社のふきん」(販売価378円)をプレゼント。●断捨離は何が大事かを問います。そういう事を考え抜けば、すっきりした人生がおくれるのかな。(正)

## 祇園祭



御池通を行く北観音山

●7月17日所用があって京都行。確かにこの日は祇園祭の山鉾巡行の日でした。午後、もう巡行は終わっているだろうと、誠に久しぶりに河原町辺に行ったのですが、(後から調べて分ったのですが)「北観音山」が丁度京都市役所の前で「辻回し」をしているところでした。

●今年から数十年ぶりに「後の祭」が復活し、「北観音山」が「クジ取らず」でその先頭にたっているとのことでした。「長刀鉾」が毎回先頭にたっているのは知っていましたが、その他にも「クジ取らず」の山鉾があったのです。そういうこともあって午後になっても巡行が続いていたらしい。

●祇園祭のはじまりの「祇園御霊会」は869(貞観じょうがん11)年。この年にも東北で大地震が起こったらしい。岩手県沖から茨城県沖の震源域が連動したとみられ、今回の東北大震災の範囲とよく似ていて、相当内陸部まで津波が押し寄せた。この年は京都で疫病が流行し、この平癒が祇園祭の契機となった。1000年前の状況とよく似ています。

●この「祇園御霊会」は、疫病が流行した時のみ行われていたのですが、970(天禄元)年からは毎年行われるようになった。元々官祭であったのですが、町衆が積極的にかかわるようになったことは、この京都の祭の特徴とも言えます。東北でも秋田の竿灯祭、青森のねぶた祭、盛岡さんさ祭がいよいよですが、民衆との関係は興味深い。

●地震であたかも混乱している現在、この民衆や市民の力が新しい社会の担い手となって、未来が開けてくるような気がします。官ではなく、民の力が歴史的にも結局、世の中を救ってきたのではないかと、思うのは大層な妄想でしょうか。今年の祇園祭を見て、特にそのように思いました。

●そういえば今年の正月、舞鶴商工会議所で新春講演会があって京都、同志社大学の経済学者、浜矩子先生の話をお聞きしました。確か「今の日本を救う担い手になるのは市民資本主義だ」と言う意味の話がされた。「中小企業の役割」についての質問の返答であったと思います。

## 電力不足

●東北大震災の福島原発の事故に端を発した、「放射能汚染」、「電力不足の問題」は、我々の社会がずーっと持ち続けている「ある種の基本的な問題」に大きな原因を求めることができる、と最近になって思えてきました。それは「責任」の問題です。「原子力発電は誰が責任を持ってやってきたか」という疑問です。

●このところの推移を見ると、結局誰も責任を持たない、責任を取らない形で進んで来たのではないかと。手続き上の発端は1955年の原子力基本法ですが、最近になってその成立の過程の論議が不十分で、会期末の年末にあわてて成立をした、と聞きました。

●日本は「法治国家」ですから、法律があれば立派な後ろ盾となる。この法律の成立には元海軍の将校で群馬県出身の元総理大臣が、資源のない日本の将来のエネルギー問題を心配され、アメリカとの協力も念頭に置かれ尽力をされた。ただこの時、科学的、技術的安全性についての議論が十分であったかは疑問があります。

●佐賀、玄海原発のプルサーマル運転(原発の燃料として、ウランに再処理プルトニウムを加えて使用する)については、市民への説明会で推進側に有利な意見やメールが出るように、知事が「示唆」をしたらしい。県民の安全を守る立場の方が、経済効果を重視されたのかも知れない。

●問題は、原子力発電を推進された政治家、行政者が、現在、将来にわたっても自分の行ったことへ十分な責任を持って行動されたかと言うことへの疑問です。少なくとも地域の民間中小企業では、将来にわたっても「個人保証」の形でその責任が問われます。そういう意味で公的機関の人の責任は個人的にも問われるのか。

●最近再読したのは高木仁三郎「原発事故はなぜくりかえされるのか」(岩波新書)、最近見たDVDは役所広司主演の「東京原発」何れも10年前後昔のものですが、今回の事故を予測していた様にびっくりした内容です。よく分っている人はどうも容易に予測をしていたと考えられます。



●7月21日拙宅ゴーヤ先月号と比較してみてください。毎日生っています。



●7月26日この通信を印刷して頂いている京田のコザイ印刷さんの朝顔。

●先月福知山で開催したリンナイガスフェスタへのバスでのご参加有難うございました。帰りには「ニトリ」にも寄って楽しかった。またお気軽にご参加下さい。■らく得リース実施中、ガラスストップテールコンロは800円台から。●毎日ゴーヤジュース。(正)

# セイブ通信 2011年9月号第3世紀No.49

発行者 セイブリビング株式会社 森下 正 舞鶴市字清道309-13電話(0773)75-5145 propane@topaz.ocn.ne.jp

## 石に刻め



1992年「マッキントッシュ」と電話モデム

- 最近「3秒前のことを忘れる」のは日常茶飯事になっています。電話が入るとさっきまで何をしていたかを失念。対応策として、メモを取るのを常としています。もっとも「書いた」行為そのものを忘れていたこともありますから、万事休す。
- 昨年の健康診断で「脳ドック」を受けようと考えましたが、確たる事実が判明することが恐ろしくて行けない。知人に言ったら、本当に忘れる人は、「忘れたことを忘れていた」とのこと。業務に差し支えが起こるようであれば、少し考えないといけません、同級生も皆同様で安心もした訳です。
- このことは、心の奥にある「心配事」も又失念してくれる訳で、そういう意味では幸せといえなくはない。「考えることが沢山あるからよ」との言葉も頂くが、育ち盛り子ども達と違って、少なくとも私たちの年代の脳は容量に限りあり、それを超えると、自己防衛で拒否をするのかも知れない。
- この夏にアップル（コンピュータの会社）のタブレット型コンピュータの「iPad2（アイパッド・ツー）」を社員全員に配って活用することにしました。まだみんな勉強中で、怖々使っていますが、ガスコンロメーカー、リンナイのカタログもこの中に入れて活用することにします。数千冊は入るようです。机の上に積んである書類も全部入ると、整頓が出来て良い。
- このアップルコンピュータを会社で使い始めたのは1988年頃からで、いまご老人も結構使っている（電子）メールもその当時は（富士通が出資する）ニフティー（という通信会社）が運用する、「パソコン通信」を利用していました。この後すぐインターネットが現れますが、電話回線に「モデム」という機械をつないでアナログ信号で通信をしていました。
- 最近では、このような機器が私たちの記憶の補完をしてくれてとても助かっています。更にインターネットを使って「Evernote（エバーノート）」等の外部にあるサーバー（記録の集積場所）に文書、映像、何でも送っておけば、何処からでも活用出来る。と言っても、電子機器やデータの脆弱な部分はある、日記だけは万年筆で書いています。
- 先日家においていたインクビンが二十数年ぶりに空になっ

て新しいインクビンを開けましたが、死ぬまで持ちそうな気がします。しかしこのセイブ通信にしてからが、直感的に使えるこのアップルコンピュータ製の「マッキントッシュ」が無ければ、書き上げることが出来なかったでしょう。他の機器との関係があって5年ほど前からは、所謂「ウインドウズ」のシステムのコンピュータに乗り換えはしましたが。



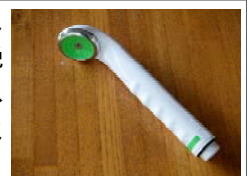
- しかし確かに今コンピュータに入っているデータが将来にわたって利用できるかといえば、大変困難な問題であることも事実です。現に1992年にこの「Mac マック」で作った表計算ソフト「エクセル」で作ったデータを既に読むことは出来ません。今みんなが重宝して使っているデジカメの写真のデータも30年も持つかは分らない。現にタンスの中に100本は眠るVHSのビデオテープは見れなくなっています。
- そんな話を近所のTさんにしたら、記録を残そうと本当に思うのなら「石に刻め！」とおっしゃった。Tさんは確かに数年前「5年日記を書き始めた。」と言われていた。1ページに5年分の欄があって、5年間の同日、何をしていたかが分るらしい。もう一巡して2サイクル目に入っているとのこと。
- 「日記は書いているが、年に数日のこともある。一日が1ページ及ぶこともある。それに大体日記に向う日は、思い悩む日が多い。調子の良い日は大体書いていない。便りのないのは、よい便りと同じ。」と言ったら、「せいぜい書くのは数行、その日あったよい事を見つけ出して書いている。」とのこと。Tさんはよい事だけを考えている。

## カフェ

- 所用で大阪Y市。午前11時頃着。昼少し前、食事を取ろうと、最近出来たという「カフェ」へ。11時半だったと思いますが、65歳～70歳と思われる男女で8割方が埋まって、我々が入って満席。限定20食のランチを注文。ダイニングテーブル5つほどと畳の席に大き目のテーブルが2つ。坪庭に俳句の石碑。
- 聞くとところによると定年退職された御主人と奥様で自宅を始められた。ターゲットは同年代の年金生活者。正直内部は「カフェ」というおしゃれな響とは少し違うような感じでしたが、元気な「ご老人達」は実に闊達に話し込まれていました。きっちりターゲットを絞り、お客様の要求を受け止められたよい経営であると勉強になりました。



■お勧めします。節水率No.1。空気と水の融合ミックスジェット節水シャワーヘッド税込4,500円■らく得リース実施中、ガラストップテーブルコンロは800円台から。■火災警報器まだ取付中。お命大事。（正）



# セイブ通信 2011年10月号第3世紀No. 50

発行者 セイブリビング株式会社 森下 正 舞鶴市宇清道309-13 電話(0773)75-5145 propane@topaz.ocn.ne.jp

## 秋が来た



多禰寺の栗

●9月の終わりに、多禰寺のAさん宅に納めているガスコンロの部品の御注文があって、納品。通常は平、赤野から三浜に抜ける道を、三浜峠から左折して、多禰寺方面に入りますが、「先の台風の風雨のため、いつもの道が通れない(「多禰寺」には行ける)。クレーンブリッジを渡り、火力発電所に通じる平トンネルを抜けたところを右折」とのこと。



2007/10/26 三浜峠から若狭湾を望む

上勉の推理小説「飢餓海峡」にも出てきます。この大浦半島の河辺由里から入る観音寺も整備され、きれいになっています。

●多禰寺の住職の松尾義空さんが、この観音寺と鹿原の金剛院のお守りをされている、と聞きました。何れも空海=弘法大師の真言宗ですが、過疎でもありご苦労があると想像できます。紅葉がすすんだら是非、金剛院のもみじがりに行きましょう。四国に縁のあった人間としては近い気持ち。

●平トンネルを抜けて右折すると、道路に立入禁止のバリケードがありました。すり抜けて山の中を10分弱走行、元々交通量は少ないのに加え、この通行止めの所為でしょうか、一部土が流れ、草が舗装された道路に迫ってきました。暫くしてAさん宅に到着、部品の交換をしました。

●往路、よく見ると道路に栗が落ちています。いが栗を一個拾い会社のお土産にしました。何個か見てみましたが実がない。どうも猿が食べていると想像出来ます。猿や熊が出てきても不思議ではない。この大浦半島は舞鶴市内で高浜原発に最も近く、多禰寺との距離は約10kmです。

## レンタルガスストーブ

●「原子力発電所の稼働率が低いので節電」と言われていましたが、今年の石油ストーブの販売量は(卸売段階)良く、既に一部在庫切れが出ています。必要な方は早い目



に手配をされるのがいいかも知れません。拙宅でも40年前から使っているアラジン社製の全手動石油ストーブ「ブルーフレーム」の芯を交換準備。

●例年行っているガス

ストーブ、ガスファンヒータのレンタルを今年も行います。新品は525円/月から旧品は105円/月まで。専用ホースは105円/月。5月に暖かくなったら回収して整備をします。燃料の補給の手間も入りません。数に限りがありますから、担当者まで早い目にご下命下さい。

## 重要・余計なお世話

●この所何件かのお客様宅でガスメーターが自動的に緊急遮断。原因はガスメーターに内蔵されているマイコンが「ガスの流量が急に増えた。おかしい。」と判断。ガスをメーターで遮断しました。多くの場合、「夏場シャワーだけで済ませていたが、お風呂に湯を張った。」というお返事です。

●又「給湯温度を高め上げた」との事。湯量・湯温によってはこのことでガスの流量が急に増え、マイコン(人工頭脳)の少し考えすぎの判断を導くことがあります。「余計なお世話」とお叱りを受けるところですが、元々ゴムホースが外れたり、配管が折損した場合を想定しての安全対策です。

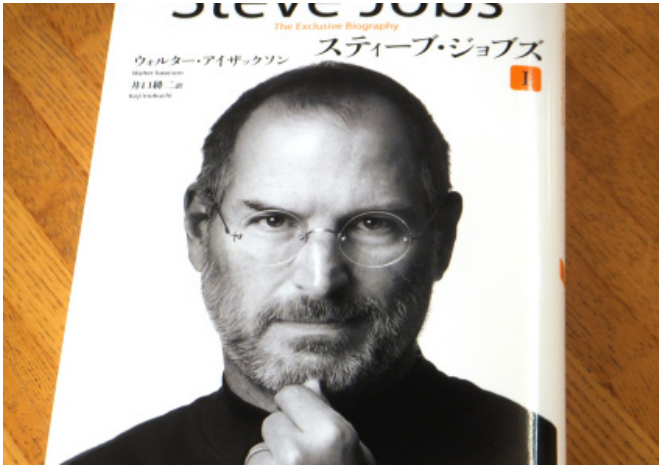
●ガスメーターを電話やガス漏れ警報器に接続している場合、集中監視センターからの電話や警報器の「ガスをメーターで止めました。」のアナウンスが入ります。その場合は安全を確認の上、ガスメーターの「復帰ボタン」を押し1分待ってご使用下さい。このごろ余計なお世話の機械が増えて、逆に人間の判断力を阻害しているのも事実で、悩ましい。

■ガスメーターの集中監視をお世話になっていますが、その内「テレセーフ」によるサービス(緊急時連絡)を行っている運営会社が、グループ会社の再編に伴い「岩谷マルキガス株式会社」(テレセーフセンター西日本、大阪市中央区淡路町4丁目4番11号、電話06-6202-3500)に変更になりました。LPガス法に基づきお客様に通知させていただきますが、お客様への対応はこれまでと変わりません。●オール電化の根拠になっている原子力発電のコストが決して安くは無いことが判明してきています。多くの費用が原価に参入されず、且つ交付金が税金から払われています。(大島堅一立命館大学教授)今回や将来の補償金も膨大。元より安全と経済性を天秤にかけ、経済性を取った結果が今回の事故と言える。」(正)

# セイブ通信 2011年11月号第3世紀No. 51

発行者 セイブリビング株式会社 森下 正 舞鶴市宇清道309-13 電話(0773)75-5145 propane@topaz.ocn.ne.jp

## スティーブ・ジョブズ



伝記「スティーブ・ジョブズ」

●セイブ通信 2011年9月号アメリカのパソコンメーカ「アップル」のパソコン「マッキントッシュ」のことを書きましたが、この会社のCEO（最高経営責任者）であったスティーブ・ジョブズが10月5日に56歳で亡くなった。すい臓がんで長い間闘病しながらの経営で、8月にCEOを後継のティム・クックに委譲したばかりでした。

●本人の了解の下に、既に雑誌タイムの編集長でもあったウォルター・アイザクソンによって伝記が書かれていて、10月末に日本語版も出版され、早速舞鶴堂に注文入りました。11月には下巻が出るようです。ここの所報道でも幾つの特集がありましたが、最も早くこのコンピュータを使い始めた一人としては少し語っておかないといけません。

●知る限り、舞鶴で最も早くこのマッキントッシュを使い始めたのは伊佐津の税理士の先生で、2番目がセイブ通信の「発行者」、3番目が近所の弁護士の先生であったようです。「発行者」はソロバンが誠に苦手で、集計用紙で縦横の計算をする良い方法がないかと考えていましたが、マッキントッシュで表計算ソフト「エクセル」が使えることが分った。

●近所の弁護士は実は前職が日本IBMの社員で、丁度日本でNECから「PC8800」とか「PC9800」が出だした頃で、相談したところ前職IBMの元同僚からパソコン「JXシリーズ」のカタログを取り寄せ「発行者」に薦めていた。ところがその当時1980年代のパソコンは、キーボードから「コマンド」（命令語）を打ち込まなければならなかった。

●雑誌で調べてみると、この「マッキントッシュ」には「マウス」（ねずみ）と呼ばれる操作装置が付属していて、そんな「コマンド」を打ち込まなくても、マウスで導かれるメニューをボタンで押せば事足りることが分った。いろいろなボタンや書類の印は「アイコン」と呼ばれる絵で示され、専門知識が無い者でも使えることが判明。グラフィカル・ユーザズ・インターフェイス（絵で分る、お客様のための、入力装置）と言うのだそうで、これを考えたのがこのジョブズでした。

●これは1984年の事で、その後ジョブズは、経営手腕を買ってペプシコーラの社長ジョン・スカイリーを引き抜きましたが、完璧主義のジョブズ自身が会社という組織の中での問題を多く起こし、このスカイリーから会社を追い出されてしまう。その後ジョブズは「自分の考え」を通す為に、より処理能力が高いコンピュータ「NeXT」（ネクスト）を世に送り出す。汎用性は無かったが画像デジタル処理に力を発揮。

●この技術はCG（コンピュータ・グラフィクス＝コンピュータによる画像処理）につながり、CGを専門にする「ピクサー社」の設立に到る訳です。この会社は最近だとアニメ「トイストーリー」を世に出した。ジョブズがいない「アップル・コンピュータ社」はウインドウズが流布したパソコン業界で倒産の危機に陥る。

●そんなアップルにジョブズは立ち戻り、彼の完璧主義を実現するiMac（＝アイマック。シンプルで、贅肉を落とし、使い安いパソコン）を発表。その後iPod（＝アイポッド。小型の音声再生装置、数千曲入る）iPhone（＝アイフォン。スマートフォン、画像も見る事が出来る携帯電話）、iPad（＝アイパッド。タブレット端末）に到る。会社名も当初の「アップルコンピュータ」から「アップル」になりました。

●そのジョブズに学ぶことは幾つかあります。一時は自分を破局に陥れた完璧主義ですが、彼は「自分は最もうるさいユーザ」であることを徹底します。言わば徹底的にお客様の立場に立ってみる。「シンプルであること」に徹底する。アップルの製品にはボタンが極限まで減らしてある。日本の製品は技術的には品位は高いが、取扱説明書なしで直感的には使えない。

●実はこのセイブ通信も元々「マッキントッシュ」で出来ていたのですが、「文字」が美しかった。それはジョブズが学生時代、欧文の毛筆「カリグラフィ」を学んでいたことに由来します。ウインドウズの文字は「読めればよい」と言う発想があって味わいにかける。「マッキントッシュ」の「フォント」（活字）は実に豊富で、現在でも印刷関係ではこのマシンが主力なのはこの文字の美しさ、豊富さに理由があります。

●ジョブズはこのようなデザイン性も非常に重要視しました。その態度は「文系と理系の交差点に立てる人にこそ大きな価値がある」と言う言葉に感銘を受けた事とも関係があります。「合理性だけで割り切るだけ」では人間の在り様を失ってしまう。ある大学での講演で「心と感性の直感に従うこと」とジョブズは述べました。ご冥福を祈ります。



■火災警報器リース取付中10年リースで月税込100円になりました。お命大事。●有馬温泉行。ホテルの宴会を抜け出し商店街を徘徊。7時には閉まっていたが趣深し。（正）

# セイブ通信 2011年12月号第3世紀No. 52

発行者 セイブリビング株式会社 森下 正 舞鶴市字清道309-13 電話(0773)75-5145 propane@topaz.ocn.ne.jp

## 鹿原の金剛院から思う



11月の金剛院の紅葉

●11月20日、「頃合い」と思って金剛院に紅葉狩り。この日は天候の変化が激しく、晴れたり曇ったり、雨が降ったり陽がさしたりを繰り返しました。一般的に暖かい日が続いていた所為か、赤く紅葉する前に枯れてしまった木もあったようです。しかし日ごろは滅多に使わない中型カメラにブローニ（6cm幅）のフィルムを入れて出かけました。

●カメラに三脚をつけたアマカメラマンも大勢で、高級なデジカメを持っています。発行者も陽のさすのをじっと待って、やっとフィルム2本（1本に6×7cmのコマが10枚撮れる）を撮りました。最近コンパクトデジカメも携帯しているので、少しメモの積りで取りました。

●上の写真はデジカメで撮りました。全部自動で綺麗に撮れる。何もわざわざフィルムで撮る必要もないのではないかと、と思えます。しかしレコードには聞こえない音まで録音されているが、CDには聞こえる音しか録音出来ない。フィルムには見えないものまで写っていると考えています。

●この日は家内から、唯一拙宅にある石油ストーブの芯を換えるように依頼をされていました。暖房に関しては、エコウィル（ガスを燃料としてホンダのエンジンで1kWの自家発電を行い、分電盤につないでいます。エンジンの廃熱で給湯と温水暖房熱源にしている）の床暖房とガスストーブを基本としています。エネルギー効率は結構いい。

●この石油ストーブは結婚した時に、東京池袋の西武デパートで購入したものです。婦人雑誌「暮らしの手帳社」が「商品テスト」で高い評価を与えたものでした。その時の評価もさることながら、それから38年も経っているのに十分使用出来るところが、現在流通している多くの商品と異なる良い点



富士フィルムのカメラ

と言えます。理由の一つは構造が単純で壊れようがない。ここ数十年は、基本的にモデルチェンジをしていません。

●もともと安全装置も、耐震自動消火装置が、日本の法律に従って「取って付けた様に」付いているだけで、高気密の家で使うのは少し危険があり、現行品には付いている「ガード」がありませんから、拙宅の子ども達は2人も天板に手を置き、軽症のやけどを負っています。しかし彼らは「ストーブは熱い」と、当たり前の事を理解しているようです。



アラジン社のブルーフレーム

●フィスラー社のアルミ製圧力鍋を使用している知り合いのFさん、「最近蒸気が漏れる」「20年は使用しているので新しいものにしようか」とのこと。デザイン的には丸みを帯び、材質もアルミとステンレスの合板になった新しいフィスラーのカタログは届けました。

●販売元の岩谷産業に念のため部品の有無を確認しました。福知山営業所のAさんが、手元にある部品を持って来てくれ、幸い合う部品があって、調圧口、Oリングパッキンなど交換し廻りました。

●金剛院で撮影したフィルムを、いつもお世話になっている写真屋さん



フィスラー社圧力鍋

に現像を頼みに行きました。最近「現像を頼む」ことも少ないようです。「2～3日掛かる」と言うので「東京にでも送るのか」と聞きましたら、本当だそうです。「到着した」と電話があって行きましたら、「何も写っていない」とのことでした。

●昨年、それでもフィルムにこだわる富士フィルムが発売したカメラで、オートのダイヤルを使用したのですが、電池が放電していて、シャッターが下りていなかったようです。「シャッターが切れていなければ、フィルムの巻上げは出来ないはず」と発行者が勘違いをしていたようです。講釈を言う割には自動に頼った発行者の責任です。ご免なさい。

■火災警報器取付中。10年リースになって月税込100円になりました。お命大事。■お正月休みは12月31日～1月4日です。期間中も緊急事態には対応します。■準備中であった当社のホームページは12月中には完成する見込みです。既にテスト公開はしています。「www.seibu-living.co.jp」セイブ通信も創刊号から公開しています。●2011年は大災害も多くありましたが、常に対応出来る仕組みと姿勢が重要です。来年はよい年にしましょう。（正）